

## 2013年度第9回執行理事会議事録

期 日：2014年3月8日（土）13:00～17:30

場 所：地質学会事務所

出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 伊藤 井龍 坂口 内藤 西（少々遅刻） 平田 星 保柳 松田 山路 山本（事務局） 橋辺

欠席者（委任状提出, 未記入議場委任）：高木 中澤 山口

\*定足数（12, 委任状含む）に対し, 出席者15名, 委任状 3名, 合計18名の出席。

\*前回議事録の確認のうえ了承された。

### I 審議事項

#### 1. 地質学雑誌投稿編集出版規則」の大改正について（山路理事）

新しいカテゴリ「講座」の設置を含めた改正案が説明され, 前執行理事会の議論を反映した規則案が提出された。修正のうえ了承し, 4月の理事会に諮ることとした。新しいカテゴリを含めた論文の定義や, 改正の意図や背景などの解説を掲載して周知を図る。

#### 2. 地質学会ロゴマークの使用規則案（内藤理事）

継続審議となっていたロゴマークの使用規則案が提出された。法人および会員としての使用範囲から実際の例示方法まで議論された。規則案を修正のうえ了承し, 4月の理事会に諮ることとした。

#### 3. 総会関連行事：日本地質学会公開講演会「日本の地質学：最近の発見と応用」（Recent progress in geological science）とスケジュール（齋藤常務）

杉田律子, 坂口有人, 佐藤峰南, 西岡芳晴の4会員の講演を予定, 招待講演とし交通費を支給することを了承した。

#### 4. 定款および規則の変更について

定款第23条4項における, 会員の総会への陪席に関する条文に間違いがあったので修正する。また, これに付随して33条2項の一部を修正する必要がある。

以上の修正変更を承認し, 4月の理事会に諮ったうえで総会に提案する。

<定款第23条4項>

現行：代議員以外の正会員は理事会の決議により別途定める「一般社団法人日本地質学会理事会規則」（以下「理事会規則」という）に従い総会に陪席することができる。

修正：代議員以外の正会員は理事会の決議により別途定める「一般社団法人日本地質学会総会規則」（以下「総会規則」という）に従い総会に陪席することができる。

<定款規則第33条2項>

現行：理事会は, 理事会規則により会長1名, 副会長2名, 常務理事1名, 副常務理事1名および執行理事を選任し, 代議員に報告する。

修正：理事会は, 「一般社団法人日本地質学会理事会規則」（以下「理事会規則」という）により会長1名, 副会長2名, 常務理事1名, 副常務理事1名および執行理事を選任し, 代議員に報告する。

また, 総会規則についても一部文言の修正を行うこととし, 理事会に諮る。

<総会規則12条3項>

現行：定款23条4項により出席した会員等は, 代議員等の要請に基づき, これを議長が許可しなければ発言できない。

修正：定款23条4項により陪席した会員等は, 代議員等の要請に基づき, これを議長が許可しなければ発言できない。

#### 5. 総会議案について

第6回総会の議案を検討し, 理事会に提案することとした。

#### 6. 4月の理事会議案

平成25年度最後の理事会としての議案を検討し, 了承した。

#### 7. その他

##### 1) 自然史連合講演会（2014/11/23）における体験型講座の担当候補者の推薦

推薦のあった長谷川健会員：仮講座テーマ「食材を使って噴火体験」を推薦することとした。

##### 2) 国際地学オリンピック組織委員会より, 会長にあてに委員就任の要請があり, 石渡会長を推薦することとした。任期：推薦された日から2017年3月31日まで

##### 3) 電子書籍の販売について

キンドル形式はパソコンユーザーに対応できないためPDF版の取り扱いが議論された。PDF版は, 学会のオンラインストアから販売し, キンドルと同様の価格とすることにした。また章ごとの分割販売も可能とし価格はページ割とすることとした。またオンデマンド印刷による少数印刷も検討することとした。

##### 4) 青木ヶ原溶岩のたんけんマップの印刷部数

これまでのシリーズ売り上げからみて3000部の発行とした。

##### 5) \*「地学は何ができるか」（愛知出版, 編集代表原田会員, 地質学会監修）の増刷に際し, 会長名の序文を削除したいとの著者らからの申し出があり, これを了承した。

##### 6) \*「富士山・青木ヶ原溶岩のたんけん—樹海に秘め

られた溶岩の不思議」について、最終原稿を理事会のメール審議に提案することを了承した。企画出版部会より松田議長に提案書を提出し現在審議中。14日に確定する。

\*5) および6) は、メール審議に確認

## II 報告事項

### (1) 全体的報告

1. 杉並区立科学館廃止に対する要望書を杉並区長あてに送付し、HP, News誌に掲載した。
2. 地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会からの緊急提言→geo-flashにて広報「我が国の地下に眠るビッグデータ・・・国民の安全・安心国土強靱化のために地盤情報の再活用を!! そのための法整備を!!」
3. 産総研地質調査総合センターより「誤分析データによる出版物に対する注意喚起」についての通知があり、Geo-flash, HP, News誌に掲載して会員に周知することとした。

### (2) 運営財政部会：総務委員会（西・山本）

<共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1. 第11回学術振興会賞受賞候補者（45歳未満）の推薦について、受付4/14-16, 学会〆切3/31→News, geo-flash, HPに掲載
2. 地球化学研究協会より学術賞「三宅賞」および「進歩賞」（奨励賞改め、1974年4月2日以降生まれの方）の公募案内, 8/31〆切 →News, geo-flash, HPに掲載
3. 公財) 国土地理協会 より平成26年度学術研究助成の募集 (4/1-4/18), 学会推薦等は不要 →News, geo-flash, HPに掲載
4. 2014地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展 (2014/10/15-17) の協賛名義使用依頼
5. 科学教育研究協議会よりの「第61回全国研究大会」(8/2-4, 港区正則高校) 後援依頼を承諾。
6. 東レ科学振興会の受賞式の案内 (3/18), 研究助成への学会推薦者は採択なし。受賞式は都合が整わず欠席とした。来年度の東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成概要の通知があった。推薦の〆切は10/10, 学会は8/31〆切 →News, geo-flash, HPに掲載
7. 公財) 公益法人協会から、支援の一環とする一般社団法人アンケートに回答, 結果は同財団のHPに掲載とのこと。
8. 独) 原子力安全基盤機構 (JNES) は2014年3月1日をもって解散通知, 今後は原子力規制委員会に統合。
9. 海上保安庁海洋情報部より「平成25年度海洋情報部研究成果発表会」のお知らせ (3/10)

<会員>

1. 今月の入会者 (7名)  
正会員 [2名]: (2013年度から入会) 村上瑞季,

(入会年度確認中) 大嶋章浩

正 (院割) 会員 [2名]: (2014年度から入会) 伊藤麻佑子, 坪川祐美子

### 2. 今月の退会者

2013年度未退会予定者一覧(正会員89名) → 回覧

### 3. 今月の逝去者 (正会員2名)

久保篤規 (2013年12月15日), 堀越孝昌 (2014年1月6日)

### 4. 2014年2月末日会員数

賛助:27 名誉:66 正会員:3902(正会員: 3683, 正 (院割) 会員:200, 正 (学部割) 会員: 19) 合計3995 (昨年比-80)

<会計>

- ・2014年度2月までの決算概要
- ・3/11 予算検討に向けて, 予算案の方針, 各事業部会から予算の要望があれば意見を聞く。
- ・事務所内の整備をするため, 倒壊している書架, 棚の廃棄をし, 新たに書架を4基設置することとした。整理にあたり, 地質学雑誌の古い特集号と寄贈本(とくに雑誌類)の古いものを順次処分することについては, 廃棄することを本執行理事会で確認した。
- ・印刷機 (リソグラフ) が故障し, 既に部品等の保証期間も過ぎ修理不能のため廃棄する。印刷機は今後も必要なので新機種をリース (6200円/月/6年) することとした。

### (3) 広報部会：広報委員会（内藤・松田）

- ・フォトコンテスト受賞者決定。最優秀賞1, 優秀賞2, ジオパーク賞1, 入選10件。受賞者はHPに公表。
- ・5月, 地質の日イベントして地下鉄銀座駅の通路コンコースでフォトコンテスト作品を展示。7月には日比谷公園での展示予定。
- ・Webシステムのリニューアルを次年度に実施する予定。費用は約70万。
- ・HP英語ページのポリシーと整備体制を広報委員長が立ち上げる。基本情報部分の英文校正を早急に発注する。

### (4) 学術研究部会：行事委員会（星）

- 1) 2015年信州大会会場について (保柳理事) 長野 (工学部) キャンパスでの開催を検討中。現状での詳細な会場プランが説明された。
- 2) 鹿児島大会について 会場及び案内書も順調に進行中。

### (5) 学術研究部会：国際交流委員会（井龍）

・thirtieth anniversary of the joint meeting of the two subcommittees; the structural geology subcommittee and the energy and resource subcommittee of the Geological Society of Korea. の招待に対して大藤会員 (構造地質部会) が訪問する。

### (6) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会（山路）

編集状況報告 (3月7日現在)

・2014年投稿論文 総数24編 [論説10 (和文10)・ノート1 (和文1)・報告4 (和文3・英文1)・巡検案内9]

・査読中 33編 受理済み 1編

・120巻2月号: 論説3, 口絵1 (計52頁. 2/28発送済)

・120巻3月号: 論説2 (計約25頁 校正中)

**(7) 編集出版部会: Island Arc編集委員会 (伊藤)**

・1号がオンライン出版済み.

・2号は投稿論文4編と招待論文で100pを予定.

**(8) 編集出版部会: 企画出版委員会 (山口・保柳)**

・富士・青木ヶ原たんけんマップは紙面構成, 記事の過不足について再検討し, 最終原稿を作成した. メールにより執行理事会の承認を得て, 理事会メール審議に付す段取りとした.

・電子出版「地学を楽しく」は, 2月末現在9部販売.

・岩波書店「地球全史スーパー年表」(清川昌一ほか著, 地質学会監修) が2月18日発行 (4000部) された. 学会との間で契約書を交わし, 印税 (2%) は著者らと折半となる.

\*3/5付けで増刷 (4000部印刷, 2000部製本) の連絡あり.

・「共立スマートライブラリー」の出版企画 (山口理事)

テーマおよび著者の推薦を各部会に依頼した. 現在挙げられている提案が報告された. 更なる提案の募集と意見集約を図る.

**(9) 社会貢献部会 (高木・平田・中澤・保柳)**

・春季地質調査研修会開催に際し, 産総研に共催を申し入れた承された.

・2014年地質の日イベント, 街中ジオ散歩「下町低地の地盤沈下と水と暮らし」を予定し, 準備を進めている. 5/10に応用地質学会との共催.

**(10) ジオパーク支援委員会 (高木)**

・2014年度の地震火山こどもサマースクールは8月2, 3日に島原半島ジオパークで開催. 地質学会からは, 九大の清川昌一理事に参加いただく予定.

**(11) 地学オリンピック支援委員会 (平田)**

・第8回支援委員会開催. 第6回日本地学オリンピック予選 (受験者1462名) の試験問題評価と地学オリンピックキャラクターデザインコンテストの支援に関して検討した.

・第6回日本地学オリンピックは, 3月23日 (日) ~25日 (火) に, つくば市にて開催. 3月23日 (日) とつづレクチャー (一般聴講可, 登録の必要あり・無料) 時に, 受付に学会の広報チラシなどを置かせてもらうことが可能. 本選参加者75名へ無料提供していただける配布物 (広報誌・グッズ) なども募集している.

・第8回国際地学オリンピックは当初8月上旬にアメリカにて開催予定であったが, 開催地, 開催日が変更となり, スペインのサンタンデルで9月下旬となった.

**(12) 地質技術者教育委員会 (山本)**

・平成25年度, 土質・地質技術者生涯学習協議会の開催報告. 建設系CPD協議会の活動や継続教育への積極的な取り組みが紹介された.

**(13) 名誉会員推薦委員会 (ウォリス)**

・昨年同様, 今年度も推薦がなかった.

2014年4月5日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会長 (代表理事) 石渡 明  
署名人 執行理事 斎藤 眞